

2020年度 事業報告書

(自:2020年4月1日 至:2021年3月31日)

I 事業の状況

本財団は、薬学及び関連諸分野の研究を奨励振興するため、2020年度は以下の諸事業を行った。

1 研究助成金の授与

薬学及び関連諸分野の基礎並びに応用研究に関し、将来有望な若い研究者に対して、助成金を授与した。

グループAは助成対象を化学系、物理系、生物系、医療系の各分野及びこれらの複合分野の基礎的研究から10件程度(1件80万円、総額800万円)を、グループBは次の各分野及びこれらの複合分野の応用的研究(調査・統計研究を含む):医療現場(薬剤部・薬局)における研究、伝統医薬に関連した研究、衛生化学・環境化学を指向した研究、医薬品・医療分野における分析を対象とした研究、社会薬学・レギュラトリーサイエンス研究の応用的研究から8件程度(1件70万円以内、総額560万円以内)を、それぞれ選考することとした。

グループAは119件、グループBは49件の応募があった。選考委員会からの授与候補者、助成金額の選考結果を受けて、理事会においてグループAは助成金額は1件80万円で合計10件、グループBは1件70万円で合計8件(総額560万円)に授与することを決めた。助成金授与決定研究課題及び受領者は[別紙1]のとおりである。

2 国際学術交流補助金の授与

研究者の海外派遣補助金の授与

2021年度に海外で開催される薬学及び関連諸分野の国際会議等への参加旅費等の補助を希望する研究者を対象に採択枠2件として募集したところ、2件の応募があり、選考の結果、1件を採択し、25万円の補助金を授与した。補助金を授与した受領者と参加学会は[別紙1]のとおりである。

国際学術交流補助事業のうち、海外からの研究者招聘補助と国際会議開催補助については募集を行わなかった。

- 3 刊行物「薬学研究の進歩-研究成果報告集 37」の刊行
2021年3月、平成29(2017)年度受領者の研究成果を収載した「薬学研究の進歩 37」(A4版134頁)を刊行した。
- 2) 機関誌「薬奨ニュース」の発行
2020年7月及び2021年1月に機関誌「薬奨ニュース No. 31、No. 32」を発行した。掲載内容は本財団のホームページに公開予定である。

以上

**第 41 回 (2020 年度) 薬学研究奨励財団
研究助成金(グループ A・B) 及び国際学術交流補助金(海外派遣) 受領者**

I 研究助成金

1 グループ A (1 件 80 万円、10 件、総額 800 万円)

「細胞内基質蛋白質ラベル化技術に基づく原核生物蛋白質分解装置 ClpP の動作原理の解明」	(近畿大学・薬学部・講師)	石川 文洋
「エクソソームを介した胎盤への高分子医薬送達システムの基盤構築と胎盤治療への展開」	(徳島大学大学院医歯薬学研究部(薬学域)・助教)	稲垣 舞
「酸化のカップリング反応の開発を基盤とする二量体型アルカロイドの革新的合成」	(東北大学大学院薬学研究科・講師)	植田 浩史
「網羅的プロテオーム解析に向けた分散カクロマトグラフィーの創成」	(京都大学大学院薬学研究科・助教)	金尾 英佑
「セロトニンによる体液調節機構解析を基盤にした薬物性消化管毒性評価法の確立」	(金沢大学医薬保健研究域薬学系・准教授)	白坂 善之
「第 2 近赤外光学窓領域の光を利活用する色素分子のデザイン・合成・蛍光プローブへの応用」	(愛知学院大学・薬学部・助教)	谷岡 卓
「細胞分裂期に特異的な微小管形成システムを標的とする抗がん薬開発」	(東京大学大学院薬学研究科・助教)	知念 拓実
「抑うつ状態からの自発的治癒における脳内 GPR18 シグナルの役割」	(金沢大学医薬保健研究域薬学系・准教授)	出山 諭司
「NSAIDs 起因性消化管粘膜障害過程における幹細胞・粘膜再生制御機構の解明」	(東京大学医学部附属病院・消化器内科・助教)	早河 翼
「HER2 陽性乳癌細胞特異的な EGFR リン酸化制御機構の解明と創薬応用」	(愛媛大学・プロテオサイエンスセンター・特任講師)	前川 大志

(応募件数 119 件)

2 グループ B (1 件 70 万円、8 件、総額 560 万円)

「環境中の超微小粒子が児の脳発達に影響を及ぼす機序の解明とその予防策」	(山陽小野田市立山口東京理科大学・薬学部・助教)	小野田 淳人
「抗 PEG 免疫応答の定量的評価を基盤とした PEG 修飾医薬品の個別化薬物療法の確立」	(徳島大学病院・薬剤部・薬剤師)	岡田 直人
「柑橘果皮由来成分の膵β細胞を標的とした抗糖尿病効果の構造活性相関研究」	(静岡県立大学・薬学部・講師)	金子 雪子
「宮古島産植物由来エキスを活用した神経炎症抑制薬の創製」	(日本大学・薬学部・准教授)	小菅 康弘
「難治性疾患における腸内ディスバイオシス改善のための新規治療戦略」	(北里大学・医学部・講師)	阪口 義彦
「血中 microRNA に基づくオピオイドの個別化投与設計法の確立」	(浜松医科大学医学部附属病院・薬剤部・薬剤主任)	佐藤 聖

「透析患者における白金系抗がん薬オキサリプラチンの体内動態と活性に

関する研究」

(京都大学医学部附属病院・薬剤部・助教) 中川 俊作

「加齢に伴う低亜鉛血症および関連疾患の発症機序の解明とその予防・改善への

応用」 (京都薬科大学・博士研究員 (日本学術振興会特別研究員PD) 西藤有希奈

(応募件数 49 件)

II 国際学術交流補助金

研究者の海外派遣補助金 (1 件 25 万円、1 件、総額 25 万円)

「環太平洋国際化学会議」

2021. 12. 15～20

アメリカ ハワイ

(東京大学大学院薬学系研究科・特任研究員) 巽 俊文

(応募件数 2 件)

以上

事業報告の附属明細書

2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。